

第5学年3組 国語科学習指導案

1 単元名・教材名

漢字の組み立て
漢字辞典の使い方

2 児童の実態と本単元の意図

本学校の児童は、これまでに、漢字の組み立てなどの「へん」や「つくり」、部首などを学習してきている。これらの学習を通して、漢字の組み立てについて知識を持つことができるようになった。しかし、そうした漢字を調べる方法については課題が残った。

本教材では、漢字辞典の使い方を学び、様々な辞書の引き方を学ぶことのできるものである。

本単元を指導するにあたって小学校学習指導要領の第3学年及び第4学年の〔伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項〕でのイ 言葉の特徴やきまりに関する事項の（カ）表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる習慣をつけること。を中心に指導を行っていく。そのために、漢字の組み立てを理解させ、そのうえで漢字辞典の使い方を学ぶようにする。そして、漢字辞典を3つの引き方によって使えるようになること、と同時に漢字辞典の良さに気づくようにする。そうすることで辞書を利用して調べる習慣をつけることができる。

本時では、部首や画数などについて理解を持たせ、漢字辞典の使い方を学び、漢字辞典を使って様々な方法で調べることができるようにする。そして、漢字辞典の良さに気づくことができるようにする。

本教材の指導を通して、漢字の部首や成り立ちや画数を基に、漢字辞典を使うことができるようにする。

3 単元の目標

(1) 偏旁冠脚に関する漢字の組み立てについて知識を持つことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項)

(2) 漢字の部首や成り立ちや画数を基に、漢字辞典を使うことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項)

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	言語に関する知識・理解
単元 の 評 価 規 準	・漢字の組み立てや部分に名称があるということに興味を持ち、漢字辞典の仕組みを理解して、進んで調べようとしている。	・漢字を組み立てている部分の名称や意味を理解し、漢字辞典を使って調べている。

評価 規 準	学習 活 動 に 即 した 評	①漢字の組み立てや部分に名称があるという ことに興味を持っている。 ②漢字辞典のしくみを理解して、進んで調べ ようとしている。	①漢字を組み立てている部分の名称や意味を 理解している。 ②漢字辞典の3つの引き方や、画数の数え方を 理解し、漢字辞典を使って調べられる。
--------------	-----------------------------------	--	--

5 指導と評価の計画(全3時間扱い)2/3時

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価内容
1	漢字は幾つかの部分で作られていることや、 部分に名前があることを理解することができる。	漢字がいくつかの部分か ら成り立っていること	アの①オの①
2	漢字辞典の使い方を知る。	漢字辞典の使い方	アの② オの②
3	漢字辞典を使う練習をして、それぞれの引き 方で漢字辞典を使うことができる。	漢字辞典を使う練習	アの② オの②

6 本時の学習指導(本時2/3時)

(1)目標

○漢字の部首や成り立ちや画数を基に、漢字辞典を使うことができる。

(2)評価規準(1時間の授業に即した具体的なもの)

ア 関心・意欲・態度	オ 言語についての知識・理解・技能
②漢字辞典のしくみを理解して、進んで調べよう としている。	②漢字辞典の3つの引き方や、画数の数え方を理解 し、漢字辞典を使って漢字を調べられる。

(3)展開(○は指導上の留意点 - - - -内は評価せず)

前時の学習内容	○漢字は幾つかの部分で作られていることや、部分に名前があることを理解する ことができる。
---------	---

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 前時の振り返り。	・漢字辞典に何が書かれ ているのか知る。	○前時までの学習を振り返り、本時の 学習に意欲的に取り組めるようにす る。	5
2 漢字辞典に触れる。		○漢字辞書の p.1024 を開き、漢字辞典 にはどんなことが書かれているのか 気付くようにする。(「飛」の漢字を 見る。部首の表示がないため、発問 で児童に問う。)	5
	漢字辞典の使い方を知ろう。		

<p>3 漢字辞典の基本的な作りを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典について理解する。 	<p>○拡大図を用いて、全体で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画数、部首、筆順が書かれていること ・部首ごとに画数の少ない順に漢字が並んでいることを確認する。 	<p>1 5</p>
<p>4 同じ部分を持つ漢字でも、部首が違うものもあること、画数を数える際の注意事項を確認。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・注意点の確認。 <ul style="list-style-type: none"> ◦「門」を持つ漢字(聞・開)部首の違いを確認 ◦「曲がり」を一画・一続きに見えても二画の漢字(区・池・子・近)を確認 	<p>○部首や画数について、振り返りと関連させ再確認する。</p>	<p>5</p>
<p>5 漢字辞典の各索引について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように調べ方があるのか知る。 <ul style="list-style-type: none"> ◦音訓さくいん ◦総画さくいん ◦部首さくいん 	<p>○実際に調べるにはどうすればいいのか投げかけ、児童に漢字辞典の中から考えるようにする。そして、各索引がどんなものであるのか考え、全体で共有する。</p> <hr/> <p>アの②漢字辞典のしくみを理解して、進んで調べようとしている。</p> <p>オの②漢字辞典の3つの引き方や、画数の数え方を理解している。</p> <p>漢字辞典の仕組みや引き方を理解している。</p>	<p>1 5</p>
<p>6 本時のまとめを行う。</p> <div data-bbox="156 1496 815 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>漢字の読みや画数、部首のうち一つが分かると三つのさくいんのどれかを使って、漢字辞典で調べることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ。 	<hr/> <p>○本時の振り返りを行い、次時の予告を行う。</p>	<p>3</p>

<p>次時の学習内容</p>	<p>3つの調べ方で漢字辞典を使って調べる練習をする。</p>
----------------	---------------------------------

7 備考 在籍児童数 35名